

●印刷物チェックシート

印刷物や原稿を、自己診断したり、仲間でチェックする際の参考にしてください。



- 【1】印刷物の読者は誰か把握(認識)しているか ☐
- 【2】印刷物(情報伝達)の種類は適切か ☐
- 【3】文字の大きさは適切か ☐
- 【4】字体(見出し, 本文)は適切か ☐
- 【5】文字の字間, 行間, 余白は適切か ☐
- 【6】読みやすい表現方法
 - (1)文章は, 正確に, わかりやすい表現としているか ☐
 - (2)ふりがなや外国語へは対応しているか ☐
 - (3)強調文字や表, イラストが適切に使われているか ☐
 - (4)カタカナ文字の多用を避けているか ☐
 - (5)色のコントラストがはっきりしているか ☐
- 【7】色弱者への配慮
 - (1)色の使い方
 - ア 彩度の低い(パステル調の)色同士の組合せを避けているか ☐
 - イ 彩度の高い色同士か, はっきりした色と
彩度の低い(パステル調の)色を対比させているか ☐
 - ウ 背景と文字にははっきりとした明度差(コントラスト)をつけているか ☐
 - エ 濃い赤ではなく朱色やオレンジ色を使っているか
(濃い赤は黒やこげ茶と混同しやすい) ☐
 - オ 青みの強い緑を使っているか(暗い緑は赤や茶色と混同しやすい) ☐
 - カ 明るい黄色と白やクリーム色の組合せを避けているか
(白内障では白やクリーム色と混同しやすい) ☐
 - キ 黒・青・緑などの背景に赤で書かれた文字の使用を避けているか
(背景色が変われない場合には, 文字色を白・黄色・クリーム色などにする) ☐
 - (2)グラフや図版
 - ア 凡例をつけるだけでなく, 図中にも直接説明を書き込んでいるか ☐
 - イ 色の塗り分けには, 色だけでなくハッチング(網掛け)等を併用しているか ☐
 - ウ 線は, 実線, 点線, 破線など様々な線種と色とを組み合わせているか ☐
 - エ シンボルは同じ形で色だけ変えるのではなく,
形を変えて色数を減らしているか ☐
 - オ 塗り分けの境目は, 細い黒線や白抜き(抜きの)の輪郭線や境界線で強調しているか ☐
- 【8】その他の配慮
 - (1)拡大文字資料を用意したか ☐
 - (2)点字資料や音声版を作成したか ☐